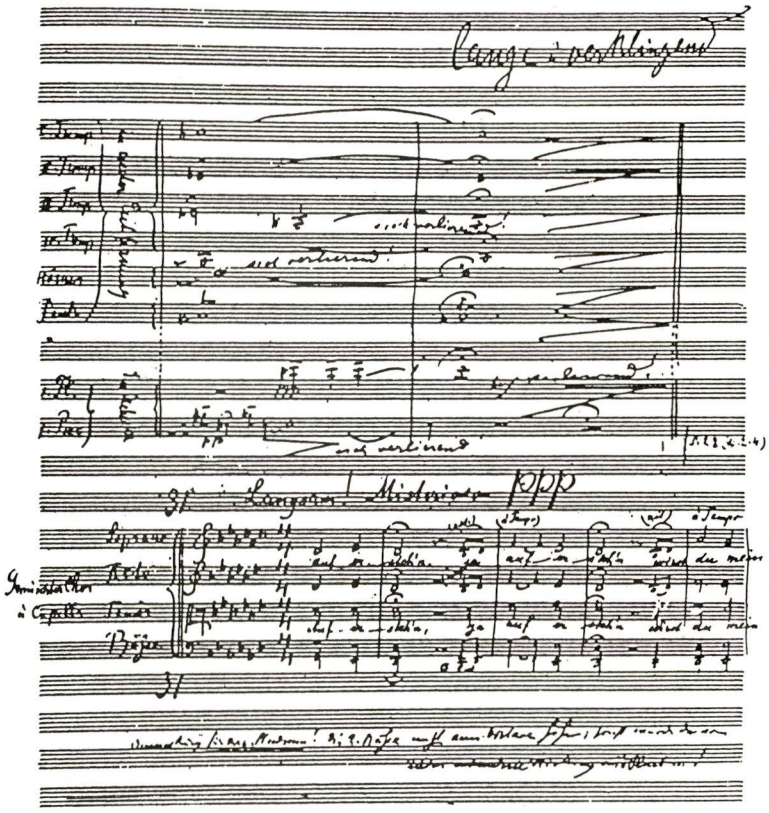
新交響楽団第101回演奏会

AUFERSTEHUNG



柴田南雄
北園克衛の「三つの詩」

グスタフ・マーラー
交響曲第2番ハ短調「復活」

客演指揮　山田一雄

1983・11・1　TUE　7:00　東京文化会館

新交響楽団第101回演奏会

*1983*年 *11*月 *1*日（火）*7*時
東京文化会館

柴田南雄（1916～）
Minao Shibata

北園克衛の「三つの詩」
3 Poems after Katsue Kitazono's Surrealistic Verses

1．記号説
Signature Theory
2．黒い肖像
Black Portrait
3．黒い距離
Black Distance

グスタフ・マーラー（1860～1911）
Gustav Mahler

交響曲第2番　ハ短調「復活」
Symphonie Nr. 2 c-moll "Auferstehung"

第1楽章　アレグロ　マエストーソ
あくまで厳粛かつ荘重な表情で
Allegro maestoso
Mit durchaus ernstem und feierlichem Ausdruck
第2楽章　アンダンテ　モデラート
たいへん落着いて急がずに
Andante moderato
Sehr gemächlich. Nie eilen.
第3楽章　静かに流れるような動きで
In ruhig fliessender Bewegung
第4楽章　「原光」（「子供の不思議な角笛」より）
極めて荘厳に，しかし簡素に（コラール風に）
"*Urlicht*"（*aus "des Knaben Wunderhorn"*）
Sehr feierlich, aber schlicht (Choralmässig)
第5楽章　スケルツォのテンポで荒々しくはじめて
Im tempo des Scherzo Wild herausfahrend

客演指揮

山田一雄

独唱　ソプラノ　大島洋子
アルト　木村宏子

合唱　新星日響合唱団
合唱指揮　郡司　博

山田一雄

1912年東京生まれ。
1935年東京音楽学校ピアノ科卒業，37年専攻科修了。
マーラーの弟子プリングスハイムに作曲を学び，日本放送協会懸賞1等，ワインガルトナー賞などを得て作曲家としての地位を築く一方，ローゼンストックに指揮法を学び，1941年新交響楽団（現N響）補助指揮者，翌42年，日本交響楽団と改組の際，専任指揮者に就任。マーラーの8番，「春の祭典」，「荘厳ミサ」等，多くの日本初演，邦人作品初演を手がけ，日本の音楽界の指導的役割を果した。

現在，京都市交響楽団芸術顧問正指揮者，新星日響名誉指揮者，日本マーラー協会理事長等をつとめる他，芸大，武蔵野音大等で指導にあたっている。76年紫綬褒章，78年芸術選奨文部大臣賞を受けた。また交響詩「若者のうたえる歌」，歌曲集「祖師ヶ谷より」の作品や，「指揮の技法」の著作がある。

大島洋子

東京芸術大学卒業。畑中良輔に師事。1975年，第44回毎日コンクール3位入賞。76年，“イタリア・オペラを楽しむ会”「夢遊病の女」のリーサーでオペラにデビュー。また，コンサートではモーツァルトの「戴冠ミサ」，「レクイエム」等の他，青の会でのシューベルト歌曲集演奏会にも参加している。

78年3月，第一期のオペラ研修生を優秀な成績で卒業し，同11月「利口な女狐の物語」(ヤナーチェック）のビストロウシュカを歌い好評を得た。79年秋から一年間，文化庁派遣在外研修員として渡欧し，翌年10月帰国。その後，82年1月「ドン・ジョバンニ」のツェルリーナを歌っている。二期会会員。

木村宏子

東京芸術大学卒業。関種子，佐々木成子に師事。1957年，文化放送音楽賞受賞。1959年「フィガロの結婚」のケルビーノでオペラにデビュー。美しい声と広い声域，豊かな音楽性と表現力をもち，その後「椿姫」のフローラ，「ロング・クリスマス・ディナー」（ヒンデミット）のジュネビェーブ，「ラインの黄金」のフロースヒルデ及びウォークリンデ，「ナクソス島のアリアドネ」(R．シュトラウス）の作曲家などを歌っている。他方，N響のベートーヴェン「第9」のソリストとして，1959年から連続5年間出演したのをはじめ，主要オーケストラと「レクイエム」（モーツァルト・ヴェルディ），「メサイヤ」，「クリスマス・オラトリオ」などで協演し，我国第一級のメゾ・ソプラノ歌手として高い評価を得ている。1982年ウィンナ・ワルド・オペラ賞受賞。
二期会会員。

新星日響合唱団

新星日響合唱団は，聴衆とのより深く，広い結びつきを目ざす新星日本交響楽団が，その活動の一環として広くアマチュアの愛好家に向けて音楽活動の場を開くために組織した合唱団。1974年のプロコフィエフ「アレクサンドル・ネフスキー」以来約10年、現在では団員数約500名，新星日響とともに，年3回の公演を行なっている。新星日響名誉指揮者でもある山田一雄とは，ベートーヴェン「第9」，ブルックナー「テ・デウム」で協演し，他にも渡辺暁雄，外山雄三，レーヴラインら，内外の指揮者と協演しており，特に今年5月の，朝比奈隆との「荘厳ミサ」は絶賛を博した。創立以来，郡司博が一貫して指導にあたり，現在，年末の「第9」，来年1月のオルフ「カルミナ・ブラーナ」の練習も続けている。

郡司　博

武蔵野音楽大学卒業。指揮を山田一雄，ハンス・レーヴラインに，声楽を小田清，永井智子，安田収吾に師事。多くのアマチュア合唱団を指導する一方，オペラ，宗教曲の合唱指揮にあたっている。創立以来，新星日響合唱団を指導し，現在，常任指揮者にある他，79年の日フィル特別演奏会でのヴェルディ「レクイエム」，同「ドン・カルロ」（リリカ・コスモポリターナ主催）の合唱指揮なども手がけた。

楽器編成

北園克衛の「三つの詩」

フルート，オーボエ，クラリネット，ファゴット，トランペット，ホルン，トロンボーン，各1．
グロッケンシュピール，ザイロフォン，ヴィブラフォン，シンバル，タムタム，小太鼓，長太鼓，大太鼓，
弦楽器
ソプラノ独唱

交響曲第2番

フルート　4（全員ピッコロ持替），オーボエ　4（3，4番イングリッシュホルン持替），変ロ調クラリネット3（3番バスクラリネット持替），変ホ調クラリネット　2，ファゴット　4（4番コントラファゴット持替），ホルン　6，遠方のホルン　4（7～10番ホルンとしてオーケストラでも使う），トランペット　6，遠方のトランペット　4（内2本はオーケストラの5，6番を使ってもよい），トロンボーン　4，バス・テューバ，オルガン，ハープ　2，弦楽器（コントラバスは何本か低いC音を持つ5弦の楽器を使うよう指示がある）
打楽器：テンパニ奏者2人各々3台ずつ（のち，さらに第3奏者が入る），大太鼓，シンバル，高いタムタム，低いタムタム，トライアングル，小太鼓(できれば複数)，グロッケンシュピール，鐘　3（音程の定まらない鋼鉄の棒），むち，遠方からティンパニ　1，大太鼓，シンバル，トライアングル，
ソプラノ独唱
アルト独唱
混声合唱

柴田南雄　北園克衛の「三つの詩」

柴田南雄は1916（大５）年，東京生まれ。1939年東京帝国大学理学部植物学科，43年同文学部美術史学科卒。在学中より，細川碧，諸井三郎に師事し，作曲を学んだ。作曲活動を開始した1941年から最初の10年間を，自からその第１期と分類しており，西洋音楽の作曲理論を徹底的に学んだ時代で，作品には，「優しき歌」（立原道造詩）などの叙情的な声楽曲が多い。そして，49年からは，入野義朗とともに12音技法の研究をはじめ，52年には最初の12音による作品「朝の歌」（中原中也詩）を発表し，彼の作風の第２期に入った。シュルレアリスム派の詩人，北園克衛（1902～1978）の作品による「三つの詩」は，この第２期に，時期的には別個に作曲された。すなわち，詩集「白のアルバム」からの「記号説」は，54年４月東京交響楽団の依嘱として作曲され，同５月，斉藤秀雄指揮，福沢アクリヴィ独唱により初演された。原型は２管編成。詩集，「黒い火」からとられた続く２曲，「黒い肖像」及び「黒い距離」は，いずれも原型は室内楽であり，「黒い肖像」は，54年10月，ＮＨＫの依嘱により書かれ，同月，渡辺暁雄指揮，古沢淑子独唱により初演された。また，「黒い距離」は，58年７月，第２回軽井沢音楽祭のために完成，同８月，森正指揮，奥村淑子独唱により初演，続いて同９月，ベルリン音楽祭における「新しい日本音楽の室内楽演奏会」において，大町陽一郎指揮，矢野滋子独唱により演奏された。そしてこの３曲は，同10月，ＮＨＫ国際放送及び立体放送のために，統一的楽器編成に改らためられ，３部作「北園克衛の三つの詩」が完成した。しかしこの３曲をまとめることは，当初から意図されていたことであり，前２曲の音やリズムのセリー（音列）は，「黒の距離」の中に，変形を加えて，統合されている。この曲には，初期の作品に見られる叙情性は内に秘めながらも，主知的傾向が強く感じられ，北園克衛の抽象的な詩と相俟って独特の緊迫感を形づくっている。

当団においては，最近は，1976年からの「日本の交響作品展」の他，一般演奏会でも邦人作品をとり上げており，今回のこの一環として演奏されるが，今までにほとんど無かった，所謂「現代音楽」の手法によって書かれた作品であり，透明で無機的な音作りは，マーラーとは全く異った難かしさであり，大いに苦労，と言うより戸惑いすら感じた。しかし，次なる飛躍のためにもベストをつくします。（M.U）

黒い肖像

絶望の
火酒の
紫の
髪の

あるひは
骨の
籠の
のなかの
影の
卵の

死の
亀の
夜の
距離の
孤独
は
黒い

雨
に濡れ
て
梯子
の
形
に腐ってゆく
その
壁
そ
の
脆い
円錐
の
孤独
の
部分

その
線
その
尖った骨片
のため
の
鉛
の
太陽

赤い縞
のある
曖昧な噴水
また
は人間
の
把手
その
髪
の

黒い距離

Une bagatelle a 1950

證明の
口
に詰められ
た
青い絵具

湿った偶像
の
光る
岸
に風化する
巨大な貝
の
影

詩集〈白のアルバム〉より

記号説

（楷書部分が歌われる）

★

白い食器
花
スプウン
春の午後3時
白い
白い
赤い

★

プリズム建築
白い動物
空間

★

青い旗
林檎と貴婦人
白い風景

★

花と楽器
白い窓
風

★

貝殻と花環
スリッパの少女
金糸鳥の熟れる汽船のある肖像

★

温室の少年
遠い月
白い花
白い

★

化粧と花火
人形のある青い窓
白い靴下
美学
白い美学

★

銀色立体人形
銀色立体人形
花と鏡
静力学

★

白色建築
遠い郊外の空
遠い

★

空
海
屋上庭園
煙草をすふ少年白い少年
1人
空間

魔術する貴婦人の魔術する銀色の少年
魔術する貴婦人の魔術する銀色の少年
赤い鏡に映る
赤い鏡に映る
白い手と眉と花
私
空間

★

青い空
なにも見えない
なにも見えない
白い家

★

白い遠景
淡い桃色の旗
絶望

★

白い少年
遠い空
ヒヤシンス
窓
白い風景

★

明るい生活と僕です
明るい思想と僕です
透明の悦楽と僕です
透明の礼節と僕です
新鮮な食慾と僕です
新鮮な恋愛と僕です

青い過去の憶ひ出は
みんなインキ瓶に詰めてすてました

★

力学は暗い
植物は重い

★

白い食器
花束と詩集
白い
白い
黄色い

★

白い住宅
白い
桃色の貴婦人
白い遠景
青い空

★

トランペットの貴公子はみんな赤いハンカチをかぶってゐる

★

夜会服
夜会服
夜会服
夜会服
面白くない

グスタフ・マーラー　交響曲第２番　ハ短調「復活」

私たち新交響楽団は，山田先生と共に今夜で第５回目のマーラーに挑戦します。あの忘れもしない５番の交響曲を皮切りに，６番，７番，９番と年１回のペースでつづけ，今回は，初めて声楽入りの２番を演奏します。

第２交響曲は，１番や４番と共に，マーラーの交響曲の中では接する機会の多い作品で，最近は，大学オーケストラなどでも積極的にとり上げられるようになってきています。

〔作曲時期と初演〕

第２交響曲のスケッチは，1887年，マーラーが27才の時に開始され，６年後の1893年春には，３楽章までが完成されました。そしてこの年の２月12日，近代指揮法の創立者である，H. v. ビュローがカイロで客死し，３月29日，ハンブルグでの追悼式の際，マーラーは児童合唱団がオルガンの伴奏で歌ったドイツの詩人クロプシュトック（1724～1803）の詩による頌歌「復活」（Ode Auferstehen）を聴き，これを元に，残りの長大な２つの楽章をわずか４ヶ月で書き上げました。こうして1894年７月25日に完成した全曲は，その年の12月18日に清書を完了し，初演を待つばかりの状態になりました。

1894年は，日本では，明治27年，日清戦争が勃発した年です。因に，マーラーが生まれた1860年（７月７日）は，日本では桜田門外の変が起った年です。

初演は，1895年12月13日，ベルリンでマーラー自身の指揮で行なわれましたが，前半の３楽章までは，それより前，1895年３月４日に，ベルリンで，R．シュトラウスの指揮で演奏されています。この３月４日演奏会の模様について，当時のオーストリアの作曲家，ヴィルヘルム・キーンツルは，自分の著書，「私の人生遍歴」の中で，次のように書いています。

『第１楽章の，低音楽器で重々しく始まる大げさなテーマは，堂々たる印象を与えた。私の心をしぶとくとらえたこの楽章が進むうちに，和声上の，器楽上の様様な大胆さがはっきりと目立ってきた。それも特に金管楽器群の長々と続く不協和音の強音箇所がそうなのだ。――（中略）――　私の右隣に座っていた指揮者のK．ムックは，明きらかに嫌悪の情を表わし，顔をゆがめて，たった一言「いやだね」とつぶやいた。』

この初演に対する反響は，否定的で，事実，音楽雑誌「アルゲマイネ・ムジークツァイトゥンク」の発行人，オットー・レスマンは，R．シュトラウスを罵倒して，「ビューローが神聖にしていた祭壇を，今ではこびとどもが冒瀆しているのだ」と言ったそうです。

日本での初演は，昭和８年２月18日，東京音楽学校（現東京芸大）第66回演奏会において，クラウス・プリングスハイムの指揮で行なわれたとの記録があります。降って昭和24年４月18，19日，日本交響楽団（現Ｎ響）第305回定期演奏会において，今日と同じ山田一雄（当時和男）の指揮によって演奏されています。独唱は，ソプラノ・三宅春恵，アルト・四家文子でした。

〔楽章構成〕

全５楽章　演奏時間　約90分

第１楽章　アレグロ　マエストーソ
あくまで厳粛かつ荘重な表情で
ハ短調4/4　約20分
１楽章が終った所で，楽譜には，「少なくとも５分の休憩をとること」と指定されています。

第２楽章　アンダンテ　モデラート
たいへん落着いて　急がずに
変イ長調　3/8　約11分
オーストリアの民俗舞曲レントラーのリズムによる複合３部形式

第３楽章　静かに流れるような動きで
ハ短調　3/8　約10分
「子供の不思議な角笛」“Des Knaben Wunderhorn” より「魚に説教するパトヴァの聖アントニウス」“Des Antonius von Padua fischpredigt” からとられています。この楽章の最後には，「中断なしに４楽章へ」の指示があります。

第４楽章　「原光」（子供の不思議な角笛より）
極めて荘厳に，しかし簡素に（コラール風に）
変ニ長調　4/4　約５分
いきなりアルト独唱によって，やはり「子供の不思議な角笛」より「原光」が歌い出されます。この楽章にも，「完全に消え入るように」終ったのち，「中断なしに５楽章へ」の指示があります。

第５楽章　スケルツォのテンポで
荒々しくはじめて
ハ長調　3/8→4/4↔2/2　約32分
いきなり低弦のfffで始まり，スケールの大きな凄絶なオーケストレーションが展開され，崇高，劇的なフィナーレでしめくくられます。

〔断章Ⅰ〕マーラー自身による解説（その１）

私は，この交響曲の第１楽章を“葬送の祭典”と名付けた。その理由は，この祭典の主人公が，第１交響曲で，私が墓に埋葬した人物であるからだ。そこで大きな疑問が浮かんでこよう。なぜ生きているのか？なぜ悩み苦しんだのか？それは大げさな，どきりとするような只の冗談にすぎなかったのか？我々が生きつづけようとするならば，これらの疑問に全て答えなければならない。よしんば，我々がただ死にかけていようとしてもである。そして私は，この曲の終楽章にその答を出したのである。

〔断章Ⅱ〕nicht eilen, nicht schleppen.

私たち新交響楽団は，山田先生とのマーラーシリーズを進めるに当って，今回大きな障害に直面しました。５番から始まって，前回の９番を終えた後，次は何番にしようかと考えた時でした。「９番の後は何もない。」「いや未完だが10番がある。」「10番は全曲版が出されている。」「５番以前の曲をやれば良い。」「８番もある。」「節操がない。」等々喧々囂々の意見が出されました。そこへ折良く表われた１人の賢者ならぬ１人のマーラー気狂い。悟りきった口調で「マーラーを続けたいということでは誰一人異論はあるまい。ならば難しい屁理屈は置いて，素直に選択すれば良い。あえて意見を言わさせてもらえば，こういう時こそ“復活”をやるべきではないだろうか」と。一同あっけにとられ，再び我に帰った後は，スムースに“復活”に決定されたとか。nicht eilenは「急がずに」，nicht sehleppenは「ひきずらないで」マーラーの楽譜は，キメ細いドイツ語による指示が随所に出てきますが，中でもこの２つの指示は度々くり返し出てきます。私たちの今後を考える上でも意味ある言葉ではないでしょうか。

〔断章Ⅲ〕子供の不思議な角笛

マーラーのスペシャリストであり，自ら７年余に亘ってマーラーの下で過した指揮者のブルーノ・ワルター（1876～1962）は，「Gustav Mahler」と題する著書の中で，マーラーの生涯を３期に分けて考察しています。

第１期……第４交響曲の完成する1900年まで。

第２期……第５から第８まで（1907年）。

第３期……アメリカを活動の舞台とし，「大地の歌」と第９を作曲した時期。

この中で，第２交響曲の属する第１期の４つの交響曲は，俗に“Wunderhorn Sinfonien” と呼ばれ，歌曲集「子供の不思議な角笛」と密接な関係があります。この詩は元々アルニムとブレンタノのドイツ民俗詩集によるもので，マーラーは，その中に自らの魂をかきたてるものを発見し，その感じたままを表現したと言われています。

断章Ⅰでのマーラー自身の解説にもあるように，この第２交響曲の柱はフィナーレにあります。その前段が，第４楽章の「原光」であり，前の２つの楽章と後の２つの楽章の橋渡しをするのが，この第３楽章で，愉快で明かるくもあり，暗い気分ものぞかせ，肯定的楽天的にみえながら，同時に厭世的否定的に響く不思議な音楽です。指揮者のレナード・バーンスタインは，これをマーラーの二重相反，矛盾の音楽ビジョンと位置付け，これこそマーラーの音楽の意味を解くカギであると主張しています。nicht eilen, nicht schleppen もそのカギの１つなのかもしれません。

〔断章Ⅳ〕マーラー自身による解説（その２）

私は大きな音楽の絵を着想する時は，『言葉』を私の音楽的イデーの担い手として自分にひきよせなければならない。丁度ベートーヴェンが“第９”でやらなければならなかったようにである。――(中略)――私の第２交響曲の終楽章の場合は，解決できる言葉をみつけるためにバイブルに至るまで世界のあらゆる文献を探しまわった。当時私はすでに長い間，終楽章には合唱を入れようと考えていたが，そうするとベートーヴェンの外面的模倣ととられやしないかという心配をいつもくり返し躊躇させていた。丁度この時，ビュローの葬式に列席し，ビューローのことを考えていた心境は，この作品の精神にぴったりだった。正にその時クロプシュトックの「復活」が始まった。いなずまのようにそれは私を打ち，すべては私の心の前に現われた。それは「聖なる受胎」であった。

正に神がかったマーラーの心境は，人間の限界を越えて立上がれる能力の可能性を示唆したものと言えます。アマチュアオーケストラ新交響楽団は，一連のマーラーシリーズを通じて，マーラーその人を理解し，マーラーをして「私の時代がくる」と言わしめた言葉に値する演奏会になるよう，全神経を山田先生に集中してこの第２交響曲に臨みます。

（網津有人（アミツアルヒト））

おお，紅く小さな薔薇よ！
人間は大いなる苦しみの中にいる！
人間は大いなる悩みの中にいる！
できることなら私は天国にいたい！
そこで私は広い道を歩いていた。
するとそこにひとりの天使がやってきて，
私を退けようとした。
ああ，そんな！私は退こうとはしなかった。
私は神より出でて，再び神のみもとに戻るのだ！
神さまは私に小さな光を
与えてくださるだろう。
永遠の至福にみちた生に至るまで
照らして下さるだろう。

O Röschen roth!
Der Mensch liegt in grösster Noth!
Der Mensch liegt in grösster Pein!
Je lieber möcht' ich im Himmel sein!
Da kam ich auf einen breiten Weg;
Da kam ein Engelein
und wollt' mich abweisen;
Ach nein! Ich liess mich nicht abweisen.
Ich bin von Gott und will wieder zu Gott!
Der liebe Gott wird mir ein
Lichtchen geben,
Wird leuchten mir bis in das ewig
selig Leben!

第5楽章

蘇らん，いかにもなんじは蘇らん，
わが塵なるものよ，短き憩いの後には！
不滅のいのち！不滅のいのちを，
なんじを呼びたまいし者，なんじに授けん。
ふたたび花咲かんがために，
なんじは種として蒔かれたり！
刈入れの主は歩みきて，
そして麦の束を，
死せる我らを集めゆく！
おお，信ぜよ　我が心，信ぜよ，
なんじより失なわれるものひとつとしてなし！
なんじのものなり，なんじが愛せしもの，
なんじが争いしもの，いかにもなんじのものなり！
おお，信ぜよ，なんじいたずらに生を
享くるにあらず！
いたずらに生をおくり，いたずらに
悩みしにあらず！

Aufersteh'n, ja aufersteh'n wirst du,
mein Staub, nach kurzer Ruh!
Unsterblich Leben! Unsterblich Leben
wird der dich rief, dir geben!
Wieder aufzublüh'n wirst
du gesät!
Der Herr der Ernte geht
Und sammelt Garben
uns ein, die starben!
O glaube, mein Herz, O glaube:
Es geht dir nichts verloren!
Dein ist, dein, ja dein, was du gesehnt!
Dein, was du geliebt, was du gestritten!
O glaube: Du wardst nicht umsonst
geboren!
Hast nicht umsonst gelebt,
gelitten!

成りしものは，滅びるがさだめ！
滅びしものは蘇るがさだめ！
恐れおののくにあらず！
生きぬく準備をせよ！
苦しみよ，すべてを刺しつらぬくものよ！
われなんじよりのがれ出でたり！
死よ！すべてを征服するものよ！
今やなんじこそ征服されたり！
われ，戦いとりし翼をひろげ
熱き愛の憧れのうちに漂いとびゆかん。
いかなる瞳もいまだ達せざる光をめざして！
生きんがためにこそ，われ死なん！

Was entstanden ist, das muss vergehen!
Was vergangen, auferstehen!
Hör' auf zu beben!
Bereite dich zu leben!
O Schmerz! Du Alldurchdringer!
Dir bin ich entrungen!
O Tod! Du Allbezwinger!
Nun bist du bezwungen!
Mit Flügeln die ich mir errungen,
In heissem Liebesstreben werd' ich entschweben
Zum Licht, zu dem kein Aug' gedrungen!
Sterben werd' ich, um zu leben!

蘇らん，いかにもなんじは蘇らん，
わが心よ，一瞬のうちに！
なんじ打ちかてしもの
なんじを神のみもとへ運びゆかん！

Aufersteh'n, ja aufersteh'n wirst du,
mein Herz, in einem Nu!
Was du geschlagen
Zu Gott wird es dich tragen!

新交響楽団への期待——第101回演奏会を迎えて——

中村一郎

第100回記念演奏会をベートーヴェンの第9交響曲で祝った新交響楽団は今日ここに第101回の演奏会を迎え，又，新たな気持でその歩みを将来に向けて続けることになる。27年の歴史と100回の回数は他のなにものにも例えることができない重みを持つが，これもひとえに音楽監督，団員の純粋な音楽への愛情と熱意によりもたらされた結果であり，同時に新響の音楽するよろこび，音楽が創り出す楽しさを理解し，これを支持する多くの聴衆があったことも忘れることはできない。

新響が充分な準備と訓練によりすばらしい演奏をするのを聴くとき，私の心のうちに血潮の高まりを感じ，その音楽のなかに自分と共通するなにかがあり，自分の理想とするものが高らかに鳴り響くのを感じることができる。

アマチュア・オーケストラである新響に期待されるものはやはり充分な練習による良心的な演奏であり，なによりも演奏される音楽の質と内容を大切にして聴く人に音楽的なよろこびと感動を与えることである。

最近のプロ・オーケストラはその数の多さによる過当競争と入れ替り立ち替りの客演指揮者方式により各オーケストラが特徴を失いつつあり，そのオーケストラ個有の響きを聴き出すことが難しくなっている。新響の場合には一人の指揮者のもとで充分な時間を費して練習することが可能であり，マス・プロ方式でない手作りの良さを今後も発揮してほしいものである。

演奏曲目については，最近は邦人作品の他マーラー，ブルックナー等の大曲を中心としているが，約半分位はもっと易しい曲を充分練習して聴かせることも必要である。例えばハイドン，ベートーヴェン等の交響曲，又「詩人と農夫」「ハンガリア舞曲」等の小品には，生のオーケストラでしか味わえない醍醐味があり，新響の充分な練習を掛けた質の良い演奏でこれらを聴くことができればどんなにかすばらしいことであろう。又，あまり知られていない古今，東西を問わない良い曲の紹介もお願いしたい。

日本のオーケストラの欠点として音に色彩感がなく結果的に表現される音楽が水墨画の如く単調なものとなってしまうこと，又，全合奏のフォルティシュモの場合，オーケストラ全体として響かず太鼓と金管楽器の音のみしか聴えないことが挙げられる。これは日本のオーケストラ全体について云えることであり，これを克服することは難しいことではあるが新響において多様な表現方法，音色，豊かな響きのための改善策を研究し，成果があがれば画期的なことになることは間違いない。

演奏会場については，スケジュールの都合と会場確保の難しさにもかかわらず，東京文化会館，新宿文化センター，簡易保険ホール等，音楽会場として聴衆の立場も考慮して毎回選ばれていることは有難い。まかり間違っても録音用スタジオに過ぎないＮＨＫホールでは決してやらないようお願いしたい。

聴衆との結びつきについては，アマチュアである新響の特徴を生かして単に入場券を買って演奏会に来てくださいというのではなく聴衆との社会的な繋がりを幅広く求めるような形での演奏会の持ち方，例えば地域，職場，地方での演奏，又，維持会，後援会については学生，勤め人，企業等を含むより広範囲で様々な階層の人々の参加を得ることが望ましい。そのほか既存のオーケストラにはない新機軸を新響がそのパイオニアとして率先して行うことが可能なものがいくつか挙げられる。例えばオーケストラ運営、マネージメント，演奏技術，奏法，トレーニング法等これまで新響に蓄積されたノウハウの他のアマチュア・オーケストラへの開放，演奏会当日の会場練習公開，又，新響の財務内容，演奏会収支等を公表することによりオーケストラ活動の実態を明らかにして一般の理解を得る一助とすることができる。このような新しい方向は新響のように既にある程度基盤が確立している団体にこそ可能であり，クラシック音楽が壁にぶちあたり何らかの改善策が求められている現状においてこれらを模索する価値は充分あるものと考えられる。

現在は脱工業化社会，情報化社会と云われ時間の持つ意味と価値が益々重要視され余暇の利用方法，趣味の対象も質が非常に問われている。しかしその一方で物と情報の氾濫に振り廻されてしまいそうな雰囲気もある。大切なことは自分が何を基準に何を選択し，又，楽しみは与えられるのではなく自分で作るものであるということである。そのような対象として新響を選んだ団員諸君の選択は賢明であり，演奏という人類に残された偉大な音楽作品を再現する創造的行為に相対するとき，その時間は価値のある瞬間であり，これこそが本当の豊かさ，感動のある人生の生き方の具体的なひとこまでありこのような時間を持つことのできる新響のメンバーは幸せである。

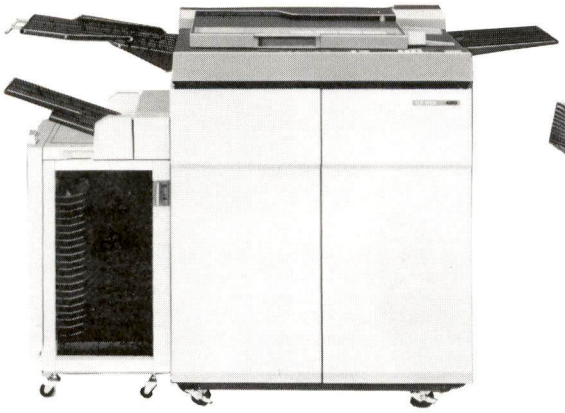
第101回演奏会を迎えて新交響楽団にはアマチュア・オーケストラとしてプロのオーケストラにはないすばらしさとさんぜんと輝くアマチュアリズムの精神を忘れず，練習に練習を重ね一回一回に全力投球する真摯な態度と演奏を今後も期待したい。

（なかむら　いちろう：団友）

走れ。

ゼロックスは、まさにカール・ルイスだ。

飛躍の、
ゼロックス4370。



ドキュメント・フィーダーとソーターはオプションです。

卓越の、
ゼロックス3970。



ドキュメント・フィーダーとソーター、および専用台はオプションです。

ゼロックスはいま、全力疾走。迫力あふれる新しい製品を、続々とおとどけしています。ゼロックス4370は、7段階の縮倍率で高速コピーします(3段給紙内蔵)。ゼロックス3970は、小さなながに8段階の縮倍率をもち、さらにフルシステムを実現しました。あなたのオフィスのために、すばらしいスピードで走ります。

富士ゼロックス株式会社 〒107 東京都港区赤坂3-3-5 電話03(585)3211 XEROXは登録商標です。

XEROX